

# 平成21年度(財)富山県体育協会一般会計事業報告

本県スポーツの普及・振興や競技力向上の推進母体として、「県民のスポーツの普及・振興」と「競技力の向上」及び「県営体育施設の利用促進」を図るため、加盟団体及び関係機関と連携し、次の諸事業を展開した。

## I 県体育協会組織の充実等

### 1 諸会議等の開催

事業の適時適切な推進を図るため、次のとおり諸会議等を開催した。

会議名		回数	開催日
評議員会		1回	平成21年5月28日 (木)
		2回	平成21年6月15日 (月) 書面審議
		3回	平成22年3月30日 (火)
理事会		1回	平成21年5月20日 (水)
		2回	平成21年6月17日 (水) 書面審議
		3回	平成21年11月10日 (火)
		4回	平成22年3月18日 (木)
		5回	平成22年3月29日 (月) 書面審議
専門委員会	総務委員会	1回	平成21年10月21日 (水)
		2回	平成21年11月10日 (火)
	強化委員会	1回	平成21年4月13日 (月)
		2回	平成21年8月13日 (木)
		3回	平成21年12月24日 (木)
	広報・普及委員会	1回	平成21年11月5日 (木)
	スポーツ医・科学委員会	1回	平成22年3月23日 (火)

### 2 競技団体への経理指導

競技団体の経理について、より適切に事務処理を行うため、適宜顧問税理士による経理指導を行った。

特に、富山県バレーボール協会外4競技団体については、平成21年11月24日～11月27日の間、税理士等により会計諸帳簿(現金出納簿・領収書等)検査などの個別指導を実施した。

## II スポーツの普及振興

### 1 第62回・63回富山県民体育大会

広く県下にスポーツを普及・振興し、県民の健康と体力の増進並びに競技力の向上を図り、明るく豊かな県民生活の創造に寄与するため、次のとおり開催した。

#### (1) 第62回富山県民体育大会

季	競 技	期 日(中心会期)	場 所	参加者数
夏季	陸上競技外 41競技	平成21年7月25日(土) ～7月27日(月)	富山市外9市4町 (県外1会場)	27,812名

大会成績 (二部郡市対抗)	一 般	1位	富山市	2位	高岡市	3位	黒部市
	中 学	1位	富山市	2位	高岡市	3位	氷見市

#### (2) 第63回富山県民体育大会

季	競 技	期 日(中心会期)	場 所	参加者数
冬季	スケート	平成21年12月12日(土) 12月23日(水)	富山スケートセンター 外	44名
	アイスホッケー	平成21年10月22日(木) ～11月7日(土)	富山スケートセンター	123名
	スキー	平成22年 1月16日(土) ～ 1月20日(水)	たいらスキー場 たいらクロスカントリーコース	593名

### 2 初級スポーツ講習会(教室)

地域住民を対象とした初級スポーツ講習会(教室)を開催し競技スポーツの日常化を図った。

実施市町村	実施コース	参加者数
富山市外3市	ビーチボール競技等 6教室	1,977名

### 3 指導者の育成と資質の向上

(財)日本体育協会公認スポーツ指導者制度の資格取得講習会を開催するとともに、資格保持者の資質向上のための研修会を開催した。

#### (1)(財)日本体育協会公認指導者養成講習会

資格名	科目	競技名	会 場	参加者数
指導員	専門科目	テニス競技	岩瀬スポーツ公園	17名
		バレーボール競技	富山県総合体育センター 外1会場	20名
		ハンドボール競技	氷見市ふれあいスポーツセンター	13名
		ソフトボール競技	富山県総合運動公園 外1会場	16名
		弓道競技	県営富山弓道場	36名

#### (2) 富山県公認スポーツ指導者研修会

期 日	内 容	会 場	参加者数
平成21年 11月22日(日)	講演Ⅰ「スポーツ指導者における安全管理について」 弁護士 白井 久明 講演Ⅱ「運動時・校外活動時等の保健安全指導」 富山県教育委員会スポーツ・保健課 主任指導主事 谷内 浩仁	婦中ふれあい会館 「ふれあいホール」	214名

#### 4 総合型地域スポーツクラブの育成支援

##### (1) 総合型クラブ育成支援委託事業

(財) 日本体育協会の委託を受け、クラブ育成アドバイザーを配置し、育成指定クラブに対しての巡回指導者や研修会、連絡協議会等の開催を通して、クラブの発展・定着を図った。

- ① クラブ育成アドバイザーの配置(1名) 齊藤 美千子
- ② 富山県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の運営

期 日	内 容	会 場	参加者数
平成21年 11月7日(土)	クラブ研修会 事例発表 3団体 グループディスカッション	ありそドーム	74名
平成22年 2月6日(土)	クラブ交流会 クラブ活動発表会 7団体 ラージボール卓球交流大会	新湊アイシン軽金属 スポーツセンター	300名

##### (2) 総合型地域スポーツクラブ創設支援委託事業

(財) 日本体育協会の委託を受け、創設支援クラブの設立に向けて支援を行った。

市町村	特別支援クラブ名	設立年月日
富山市	立山山麓あわすのスポーツクラブ	—————
立山町	常願寺川公園スポーツクラブ	22. 2. 28

##### (3) 広域スポーツセンター運営事業

県教育委員会の委託を受け、広域スポーツセンター運営事業を実施した。  
専任指導者を1名配置し、総合型地域スポーツクラブの育成を支援し、クラブ間の連携強化を図った。  
また、「スポーツ指導者パスネットとやま」の効果的な運用を図った。

- ・専任指導者 白倉 香理

##### (4) 地域スポーツ指導者育成推進事業

県教育委員会の委託を受けて、地域におけるスポーツ指導者の発掘・育成を目的として実施した。

###### ① 地域スポーツ・指導者育成研修会

期 日	内 容	会 場	参加者数
平成21年 11月15日(日)	講演 「地域で育てる次世代スタッフ」 講師 早稲田大学スポーツ科学学術院准教授 作野 誠一 グループディスカッション 「未来へとつなぐ地域クラブ」	富山県総合 体育センター	66名

###### ② 実践講習

期 日	内 容	場 所	参加者数
平成21年9月 ～ 平成21年12月	受講者が総合型地域スポーツクラブのプログラムに5日間参加し、指導者からのアドバイスを受けながら実際にプログラムを担当し講習した。	県内9クラブ 15教室	24名

### Ⅲ 競技力の向上

#### 1 第30回北信越国民体育大会

国民体育大会の主旨に則り、その予選会として北信越地域の人々に広くスポーツを普及し、スポーツ精神の高揚を図り、健康増進と体力向上を目指し、併せて5県の親睦と交流を深めるとともに、地方のスポーツ振興及び文化の発展に寄与することを目的として開催された。

##### (1) 大会概要

会 期	中心会期 平成21年8月21日(金)～23日(日)		
	早期開催 カヌー競技 外9競技		
会 場 地	石川県下7市3町・新潟県1市		
実施競技	サッカー競技 外31競技		
参加人数	選手・監督	2,830 名	
	本部・顧問等	71 名	計 2,901 名

##### (2) 大会成績等

富山県選手団 田中 一郎 団長 外733名  
第64回国民体育大会本大会ブロック代表数 58代表獲得

#### 2 国民体育大会

第64回大会の冬季大会は青森県(スケート・アイスホッケー)と新潟県(スキー)で、本大会は新潟県で開催された。男女総合成績(天皇杯)は37位であった。

また、第65回冬季大会も開催され、3競技終了時点で男女総合成績22位である。

##### (1) 大会概要

回	季		期 日	場 所	参加者
64	本大会		平成21年 9月 9日(水) ～ 13日(日) (会期前開催)	新 潟 県	422 名
			平成21年 9月26日(土) ～ 10月6日(火)		
65	冬季大会	スケート・ アイスホッケー	平成22年 1月27日(水) ～ 1月31日(日)	北 海 道 市 北 釧 路 市	7 名
		ス キ ー・ バイアスロン	平成22年 2月25日(木) ～ 2月28日(日)	北 海 道 市 北 札 幌 市	57 名

##### (2) 大会成績

回	季	種 類	男女総合		女子総合	
			点	位	点	位
64	本大会	本大会総合成績	690.0 点	39 位	409.5 点	36 位
		冬季・本大会総合成績	773.0 点	37 位	442.5 点	34 位
65	冬季大会	スケート・アイスホッケー	20.0 点	27 位	0.0 点	34 位
		ス キ ー	43.0 点	7 位	26.0 点	6 位
		冬季大会総合成績	63.0 点	22 位	26.0 点	23 位

### 3 全国的・国際的大会等助成

本県のスポーツ振興と競技力の向上に資するため、第5回春の全国中学生ハンドボール選手権大会ほか全国的・国際的大会等の開催運営費を補助するとともに、第21回オリンピック冬季競技大会(バンクーバー)ほか国際大会へ日本を代表して出場した選手・監督に激励費を支給した。

#### (1) 開催

実施期間	平成21年4月～平成22年3月	
実施競技	全国的・国際的大会	第5回春の全国中学生ハンドボール選手権大会 外2大会
	日本リーグ等レベルの高い大会	平成21年度スポーツライミング競技第12回JOCジュニアオリンピックカップ大会 外11大会

#### (2) 派遣

オリンピック競技大会	助成大会	第21回オリンピック冬季競技大会(バンクーバー)	
	派遣人数 ※県内在住者 県出身者3名	選手	田畑 真紀(スケート) 穂積 雅子(スケート)
		コーチ	羽田 雅樹(スケート)
その他の大会	助成大会	アジアウエイトリフティング選手権大会 外21大会	
	派遣人数	延42名	
	派遣先	イギリス カザフスタン 中国 韓国 シンガポール セルビア チェコ インド 台湾 フィリピン ミャンマー オーストラリア カナダ ベルギー フランス ドイツ アゼルバイジャン 計17カ国	

### 4 競技力向上事業

2000年とやま国体で培われた競技力の維持・向上を図るとともに、第64回国体男女総合成績 20位台半ばの確保を目指し、通常強化・特別強化などの合宿・遠征事業等を競技団体と一体となって、効果的・積極的に展開し、選手の育成強化に努めた。

#### (1) 選手強化対策事業

- ① 強化担当者会議、競技団体ヒアリング等を開催するとともに、ネットワーク化の促進を図り、各競技団体の現状の把握に努め、効率よく強化事業が展開されるよう競技団体との連携を密にした。
- ② 競技団体強化担当者が、各種全国大会等での競技力調査を実施し、本県の戦力分析や優秀選手の発掘等に努めた。

(2) 合宿・遠征事業

- ① 強化指定選手等の強化を図るため、県内合宿・県外遠征・県外優秀チーム招へいを計画的に実施した。
- ② トップレベルの選手強化を図るため、韓国等の海外遠征や立山での高所トレーニングを実施した。

(3) アドバイザー・トレーナー招へい事業

21競技に22名のアドバイザー、14競技に17名のトレーナーを招へいし、国体期間中及び合宿・遠征等で指導を受け、県内指導者の資質の向上と本県選手の競技力向上を図った。

(4) 強化指定事業

- ① 選手指定  
少年種別38競技 643名、 成年種別40競技 663名、 計 1,306名
- ② スタッフ指定  
40競技総監督 33名、 各種別監督 130名、 コーチ144名、 計 307名

(5) 元気とやまスポーツ道場開催事業

中学校や高等学校の有望な逸材を発掘し、県内の拠点スポーツ施設において長期的な展望のもとに育成・強化を図った。

内容	競技数	回数	参加者数
練習会 講習会	スキー競技 外18競技	614回	708名

(6) 中学・高校運動部スーパーコーチ派遣事業

全国大会で優勝等の指導経験が豊かなスポーツ指導者を中・高等学校へ派遣し、部活動顧問の指導力向上及び部活動運営を支援することにより、本県スポーツの競技力向上と運動部活動の一層の充実を図った。

コーチ氏名	指導部活動	派遣校	指導回数
石川 春樹	バレーボール	小杉高等学校 外22校	797回
橘川 謙三	柔道		
坂巻 龍雄	ボート		
清水 芳隆	バドミントン		
飛田 昌広	ホッケー		
金子 龍一	陸上競技		

## 5 競技スポーツ振興事業

### (1) 振興事業

小学生、中学生を対象に、スポーツ教室、記録会及び練習会を実施し、競技スポーツに対する興味・関心を高めることにより、競技スポーツ人口の拡大を図った。

内 容	競 技 数	回 数	参加者数
記録・練習会	スケート競技 外29競技	328 回	14,454 名
教 室	スケート競技 外22競技	34 回	12,255 名

### (2) 未来のアスリート発掘事業

スポーツ能力に優れた児童を見出し、競技団体、学校、家庭と連携を図りながら、将来のスポーツ界を担う人材育成のサポートを行った。

#### ○ 事業内容

##### ① 4期生(2009) 51名

- ・ 育成プログラムの実施



実施回数	内 容	会 場
14回	知的能力育成プログラム 「メンタルトレーニング①～⑥」 奈良教育大学教授 岡澤 祥訓 「スポーツ栄養講座」 富山短期大学教授 桑守 豊美 「成長期のスポーツ障害」 富山赤十字病院 リハビリテーション科部長 山上 亨	富山県総合 体育センター 会議室 大・中アリーナ
	身体能力育成プログラム 「コーディネーショントレーニング」 帝京平成大学准教授 望月 明人	
2回	体力測定	トレーニング室

##### ② 5期生(2010) 66名

- ・ 募集 県内各小学校及び加盟競技団体、市町村スポーツ少年団事務局等を通じて公募を行う。
- ・ 書類審査(1次選考) 書類審査により150名を選考する。
- ・ 測定会の実施(2次選考) 1次選考で選抜された児童を対象に測定会を実施し、50名を選考する。
- ・ 指定証交付 競技団体推薦児童16名を含む指定児童66名に指定証を交付する。
- ・ 育成プログラムの実施



2回	知的能力育成プログラム 「成長期のスポーツ障害」 富山赤十字病院 リハビリテーション科部長 山上 亨 「スポーツ栄養講座」 富山短期大学教授 桑守 豊美	富山県総合 体育センター 会議室 大・中アリーナ
	身体能力育成プログラム 「コーディネーショントレーニング」 帝京平成大学准教授 望月 明人	
3回		

## 6 アンチ・ドーピング教育・啓発事業

国体選手を中心としたアンチ・ドーピング教育並びに啓発活動の実施を通して薬物乱用や誤用の認識を高めるため、指導者や強化・普及担当者を対象とした講演会を開催し、健全なスポーツ活動を推進した。

期 日	対象者	講 師	実施場所	参加者数
8月15日(土)	バレーボール競技 外3競技	高岡市民病院 山田 均 前田 明夫	高岡商業高等学校 セミナーハウス 外3会場	91名
9月5日(土)	強化指定選手 監督・コーチ	富山大学 布村 忠弘		
9月18日(金)	国体出場競技 選手・監督等	富山大学 布村 忠弘	アオイスportsハウス	68名
内 容				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンチドーピングについて</li> <li>・競技会検査、競技外検査について</li> <li>・検査内容について</li> </ul>				

## IV 体育施設の管理運営

富山県西部体育センターをはじめ、富山県高岡総合プール、県営富山弓道場、富山県漕艇場、富山県上市カヌー競技場及び砺波市温水プールについて、指定管理者の指定を受けるとともに、アオイスportsハウス、山野スポーツセンター、屋内相撲練習場の管理運営にも取り組み、本県におけるスポーツの普及・振興の推進母体として県民サービスの向上と業務の効率化に努めた。

### 1 富山県西部体育センター

#### (1) 主な取組内容

- ① 安心して快適に施設を利用できるよう、施設の整備に努めた。また、救急救命法やAED取扱等の講習会を定期的に開催し、緊急時に備えた。
- ② 行事予定、スポーツに関する情報を盛り込んだ広報誌「ジムワールド」を発行し、情報提供を図った。
- ③ 総合型地域スポーツクラブと連携して、体育の日に「スポーツフェスティバル」を開催し、ニュースポーツの体験教室を企画するなど、スポーツへの参加の機会を提供した。
- ④ スポーツや健康に関する川柳コンクールや、写真コンテストを開催し、スポーツフェスティバルで表彰式を行い、スポーツ以外での施設の利用促進、PRに努めた。
- ⑤ アンケート、モニタリングにより利用者のニーズを把握し、サービスの向上、施設の運営改善に反映させた。

#### (2) 利用状況

	平成19年度	平成20年度	平成21年度
利用人数	129,582 人	135,558 人	131,923 人
使用料収入	16,766,235 円	17,628,359 円	17,521,046 円



## 2 富山県高岡総合プール

### (1) 主な取組内容

- ① 安心して快適に施設を利用できるよう、施設の整備に努めた。また、水上安全講習会を定期的で開催し、事故防止に努めた。
- ② 行事予定、プール・水泳に関する情報を盛り込んだ広報誌「HEALTH SWIM inTAKAOKA」を発行し、情報提供を図った。
- ③ 近隣企業を訪問し、福利厚生事業の一環として施設の利用を呼びかけ、施設の利用促進に努めた。
- ④ 総合型地域スポーツクラブと連携して、体育の日に「スポーツフェスティバル」を開催し、水泳記録会、ミニゲームを企画するなど、スポーツへの参加の機会を提供した。
- ⑤ アンケート等により利用者のニーズを把握し、サービスの向上、施設の運営改善に反映させた。

### (2) 利用状況

	平成19年度	平成20年度	平成21年度
利用人数	73,021 人	76,380 人	82,368 人
使用料収入	15,146,850 円	15,667,025 円	15,934,950 円

## 3 県営富山弓道場

### (1) 主な取組内容

- ① 安心して快適に施設を利用できるよう、射場、的場の整備に努めた。
- ② 関係団体と連携して、弓道教室を開催し、施設の利用促進、競技の普及啓発に努めた。
- ③ アンケート等により利用者のニーズを把握し、サービスの向上、施設の運営改善に反映させた。

### (2) 利用状況

	平成19年度	平成20年度	平成21年度
利用人数	10,354 人	11,129 人	10,388 人
使用料収入	1,063,490 円	1,085,300 円	1,102,210 円

## 4 富山県漕艇場

### (1) 主な取組内容

- ① 安心して快適に施設を利用できるよう、施設の整備に努めた。特に湖面上の流木除去、湖面巡視を実施し、事故防止に努めた。
- ② 総合型地域スポーツクラブ、ボート協会及び近隣小学校が主催する教室等に指導者として参加し、競技の普及促進に努めた。
- ③ アンケート等により利用者のニーズを把握し、サービスの向上、施設の運営改善に反映させた。

### (2) 利用状況

	平成19年度	平成20年度	平成21年度
利用人数	14,509 人	15,571 人	14,599 人
使用料収入	1,073,800 円	1,195,870 円	1,047,620 円

## 5 富山県上市カヌー競技場

### (1) 主な取組内容

- ① 安心して快適に施設を利用できるよう、施設の整備に努めた。特に湖面上の流木除去、湖面巡視を実施し、事故防止に努めた。
- ② 総合型地域スポーツクラブ、カヌー協会が主催する教室等に指導者として参加したり、他施設において「出前カヌー体験会」を実施するなど競技の普及促進に努めた。
- ③ アンケート等により利用者のニーズを把握し、サービスの向上、施設の運営改善に反映させた。

### (2) 利用状況

	平成19年度	平成20年度	平成21年度
利用人数	2,307 人	2,541 人	2,707 人
使用料収入	197,330 円	285,860 円	202,300 円

## 6 砺波市温水プール

### (1) 主な取組内容

- ① 安心して快適に施設を利用できるよう、施設の整備に努めた。また、救急救命やAED講習会を定期的に開催し、緊急時に備えた。
- ② 水泳、アクアビクス等の教室事業や一般利用者を対象とした自由参加プログラムを開催し、施設の利用促進に努めた。
- ③ 総合型地域スポーツクラブと連携して、体育の日に「スポーツフェスティバル」を開催し、水泳教室を企画するなど、スポーツへの参加の機会を提供した。

### (2) 利用状況

	平成19年度	平成20年度	平成21年度
利用人数	63,261 人	63,074 人	61,248 人
使用料収入	16,087,000 円	15,458,300 円	14,383,200 円

## 7 その他の施設

### (1) 利用状況

管理施設		平成19年度	平成20年度	平成21年度
アオイスportsハウス (トレーニング場)	利用人数	8,454 人	8,231 人	7,671 人
	使用料収入	1,215,560 円	1,172,960 円	1,031,520 円
山野Sportsセンター	利用人数	8,045 人	7,778 人	9,384 人
	使用料収入	6,625,930 円	6,812,720 円	7,629,720 円
屋内相撲練習場	利用人数	2,008 人	2,157 人	2,337 人
	使用料収入	201,440 円	198,800 円	209,440 円
合 計	利用人数	18,507 人	18,166 人	19,392 人
	使用料収入	8,042,930 円	8,184,480 円	8,870,680 円